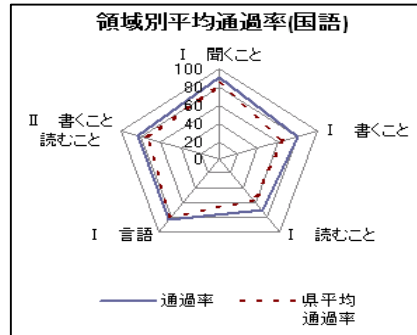
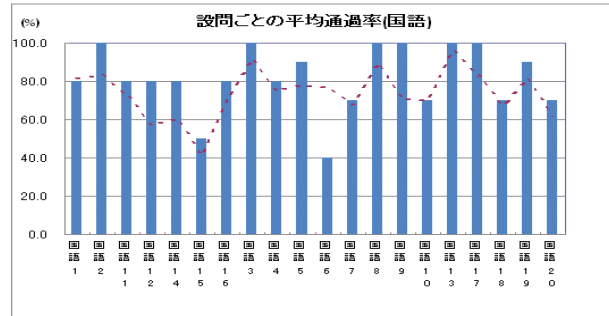


## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 81.5%, 県 76.1%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

- 全体的な傾向について  
タイプI 81.3%, タイプII 82.5%という通過率なので、特に偏った傾向はない。観点別に見たときに、「読むこと」の通過率が70%と一番低く、継続課題である。
- 昨年度の課題への取組の成果および課題  
昨年度は、「書くこと」の観点全体の中では低かった。取組としては、毎時間の短文作成や単元を貫く言語活動を設定し、書くことに重点をおいた授業を展開した。

### 重点課題

#### 【課題1】

○故事成語の問題の通過率が40%と一番低かった。一年生のときに学習したが、生活の中では使っていないので定着していない。

#### 【課題2】

○文章の展開を確かめながら要旨を捉える問題の通過率が50%であった。文中から適切な語を抜き出す問題に対して、a, bの2問中、1問だけ正解した生徒が40%ではあるが、丁寧に文章を読み取っていないことがわかる。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

#### 【課題1】

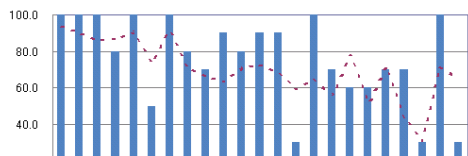
○日常生活での、多様な語彙を使う指導を心がける。毎時間の短文作成時に、辞書を引かせ、故事成語や慣用句を必ず用いるように指導していく。

#### 【課題2】

○授業の中でもこの問題に類した指導をおこなっているが、今後も継続していく。長文などに読みなれることも必要なので、時間を決めて長文を読み、要旨を捉える演習も行っていく。

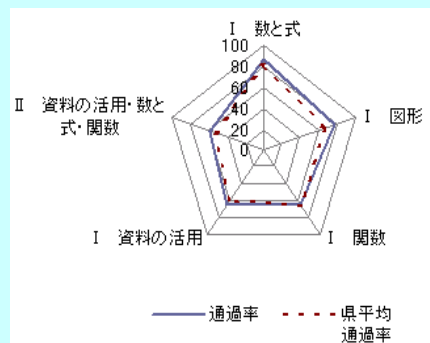
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年・単元評価問題	1・2年学力到達度検査		1・2年・単元評価問題
目標値					70%		
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年・単元評価問題			1・2年・単元評価問題	1・2年学力到達度検査		1・2年・単元評価問題
目標値	70%				70%		
実施後数値							

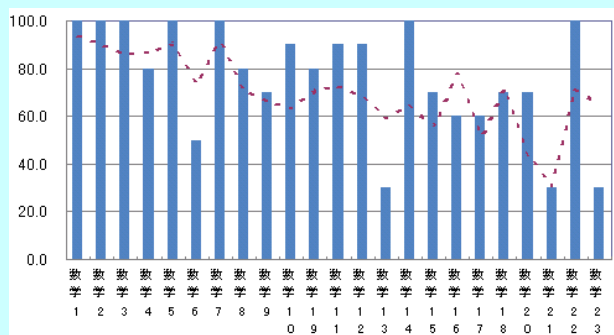


## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.1%, 県 70.2%)

領域別平均通過率



数と式の平均通過率



## 本年度の結果について

- 全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について  
タイプ I は 80.0%, タイプ II は 57.5% の通過率となっている。この結果から, 基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが, 活用・表現には課題が大きい。
- 昨年度の課題への取組の成果  
昨年度は, 作図の方法において, 作図中にできる図形の特徴やその根拠を示す問題で課題が見られた。そのため, 作図指導においては, 同じタイプの作図においても複数の図形を比較させるなどして, 定義や性質をもとに図形の特徴や対称性を読み取らせた。問題は異なるが, 通過率が 18.2% から 90.0% となった。

### 重点課題

- 【課題 1】 釘全体の重さから釘のおよその本数を求める方法を説明する問題に課題がある。何を調べたらよいかは答えられるが, どのような計算をすればよいかを説明できていない生徒が 50.0%。(通過率 30.0%)
- 【課題 2】 底面の直径と高さが等しい円柱と同じ半径の球の体積の比を問う問題に課題がある。円柱と球の体積の比が選択肢の中で最も差がないもの (6 : 5) を選ぶ生徒が 70.0%。(通過率 30.0%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題 1】 何を調べたらよいか, そして何を用いて, どのような計算をするのかといった方法を説明する場面を授業に取り入れる。
- 【課題 2】 円柱と球の関係や, 円柱と円錐の関係だけでなく, 円錐・球・円柱の関係を統合的に指導していく。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					1・2年学力到達度検査		
目標値					60%		
実施後数値							

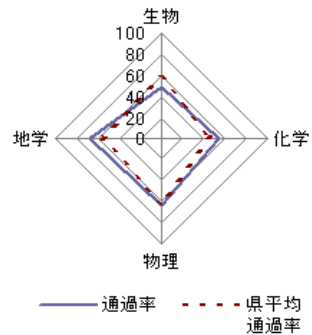
  

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					1・2年学力到達度検査		
目標値					60%		
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 58.5%, 県 55.0%)

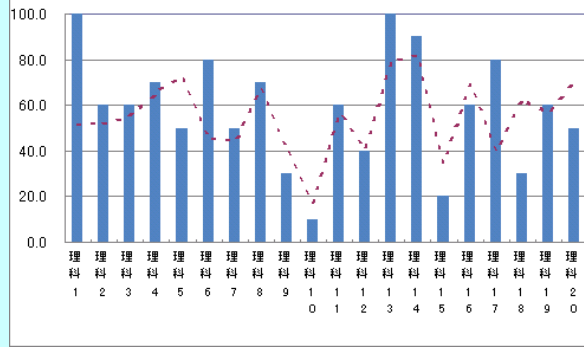
領域別平均通過率

領域別平均通過率(理科)



設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(理科)



本年度の結果について

調査の結果について

- 全体的な傾向  
問題通番1や通番14のように基本事項としての語句の確認や基本操作についての確認・定着はできている。問題通番6や通番17のように基礎事項の応用についての理解では、学習経験の多い類似の問いは、通過率が高い。通番10や通番15, 通番18のように、学習経験が薄い設問に対しては通過率が低い。
- 昨年度の課題への取組  
科学用語の定着が不十分であった課題に対しては、振り返り学習を続けることができる教材を活用することや集中的な確認の時間を組み込むなどの取組を実施した。

重点課題

【課題1】 溶質の再結晶についての問いで結晶の区別を答える設問で、生徒の行った実験の体験では時間を十分かけずに具体物でなく画像として提示しただけで終わっていた。加熱した飽和水溶液を冷ましなが、溶質を再結晶で取り出す直接体験を通して、成長していく結晶とその形を関連付けていなかった。

【課題2】 地震の地震波の到達事項の記録による震源距離の測定の問いに対して地震波の波としての伝わりかたをしっかりと理解させることと、伝わる速さと到達距離の差とが、地震波の到達時刻の差に関係することを十分に定着させていなかった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 実験の目的やその方法と、実験結果とのつながりをより丁寧に理解させるように取り組むことを重視する。そして、具体的な体験を重視した学習を重ね、基本的な科学概念を積み上げていく。演習問題を通してその問いの中で応用する科学概念を明らかにする。調査問題の設問の解答に必要な知識の種類と、正解につながる思考や知識の選択の手順を練習させる。

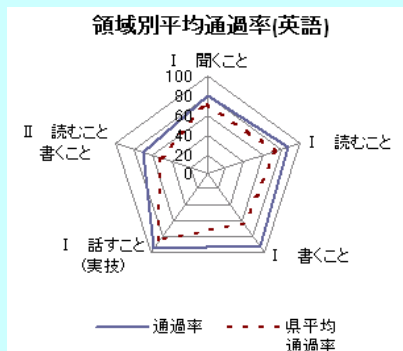
【課題2】 測定した数値や観察のデータからの数量を、科学的な概念をもとに数値の処理をさせるように学習を重ねさせる。学習する生徒個々の理解の程度にあわせて、数値の扱いの説明や計算の意味づけを工夫するなど実験と考察・分析の整合性をもたせるようにさせる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年確認テスト			1・2年確認テスト	3年確認テスト 1・2年学力到達度検査		1・2年確認テスト
目標値	75%			75%	80%/60%		80%
実施後数値							

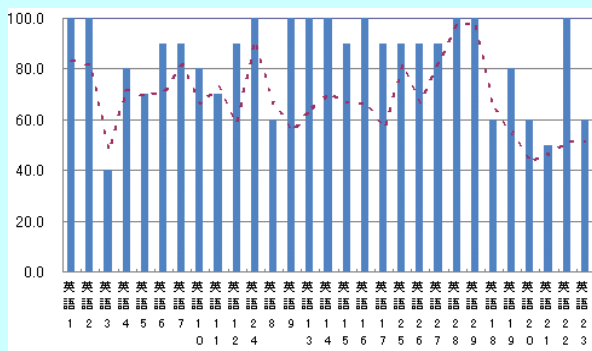
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年復習問題			1・2年復習問題	1・2年学力到達度検査		
目標値	80%			80%	60%		
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 83.8%, 県 68.2%)

領域別平均通過率



教科書の平均通過率



## 本年度の結果について

英語の結果において、タイプⅠは87.8%、タイプⅡは68.3%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な知識はある程度定着しているが、英文を読んだり書いたり活用する力が弱いということが考えられる。また、4技能においては、聞くことが80.0%と最も低いので改善していく必要がある。

昨年度の結果では、英文を読んで必要な情報を取り出し、その情報をもとに自分の考えを書く力に課題があった。そこで、生徒が聞いたり読んだりしたことについてその内容を理解するだけでなく、自分の感想を述べたり、賛否を表明しその理由を添えたりするなど、聞いたり呼んだりしたことをもとにコミュニケーションを図る指導を行ってきた。今年度も継続課題として取り組んでいく必要がある。

### 重点課題

【課題1】「聞くこと」の領域で、2人の対話文を聞き、主語を正確に把握しその内容についての質問に答えること。(40.0%)

【課題2】「読むこと」の領域で、情報を基に中心となる事柄を正確に読み取ること。(50.0%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】○授業中に英文を聞く時に、主語が単数か複数かを意識させる。  
○英文を読む時には主語・動詞に線を引き、主語によって動詞が変化することを意識させる。  
○日常の英会話やALTとの英会話の中で“Yes.” “No.”だけの返答ではなく“Yes, they are.”などと主語を意識した返答をするよう指導する。

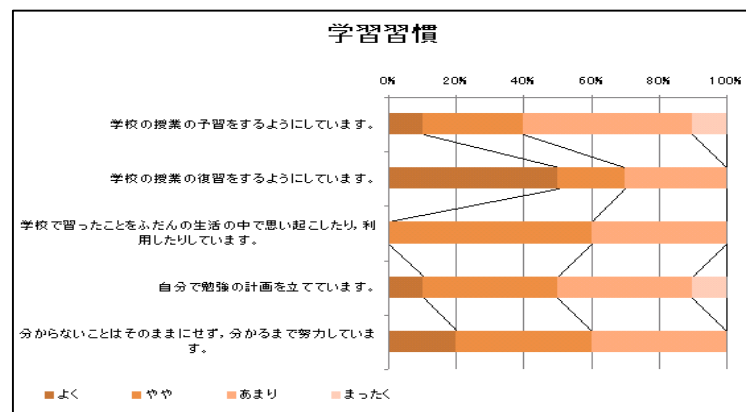
【課題2】○授業中に英文を読む時に、中心となる事柄や要点をとらえて読むために、事前に読み取りのポイントを与えてから読ませる。  
○まとまった英文を読んで要約する活動を仕組み、大切なポイントを読み取れるよう指導する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1年生単元テスト				1年生 三次市学力到達度検査	1年生単元テスト	
目標値	70%				70.0%	70%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生単元テスト				2年生 三次市学力到達度検査	2年生単元テスト	
目標値	70%				70.0%	70%	
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

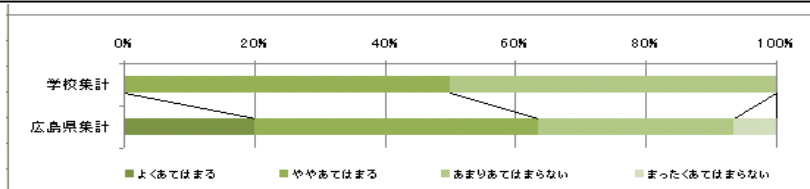
(1) 生活・学習



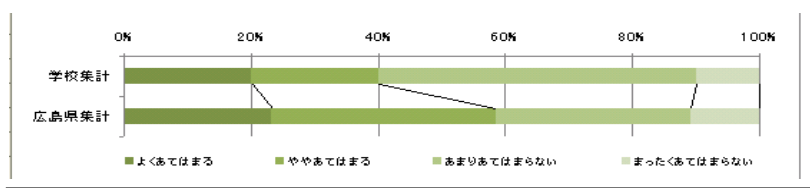
生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「授業の予習をするようにしています。」の肯定的評価が40%と低い。	学校の取組として、予習を掲げており、授業の中で予習すべきことを提示するようにしているが、各教科でこのことを徹底するようにしていく。	全学年	70%	生徒調査	11月		

(2) 教科

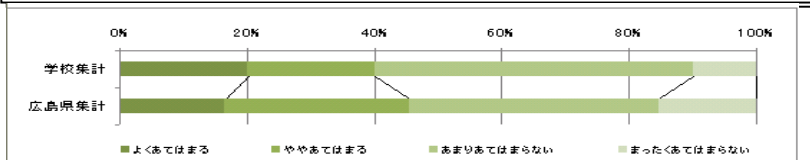
国語の授業では、段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。



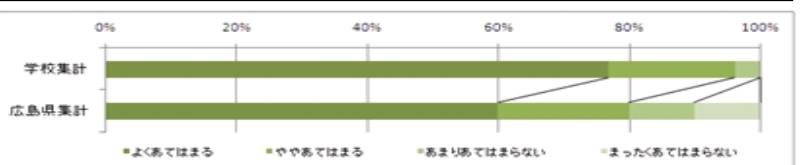
数学の授業では、学んだことがどのような場面で使えるのかを考えています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業では、段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。」に対する肯定的評価が50%であった。	長文読解のポイントを示し、接続語の働きや文末表現に留意して文章を読む指導をしていく。	2	70%	生徒アンケート調査	12月		
数学	学んだことがどのような場面で使えるのか考えている生徒が40.0%である。	比例反比例の単元において、何を調べたらよいのか、何をを用いて、どのような計算をするのかといった方法を説明する場面を授業に取り入れる。	1	60.0%	単元末に意識調査をする	11月		
理科	自分の考えを周りの人に説明したり発表したりするに対して肯定的評価が40%であった。	実験レポートのまとめ方をしっかり練習させていく。自分でまとめた資料をもとにして説明させていく。	2	60%	生徒のレポートを見る。	10月～2月		
英語	英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見を話したり書いたりしています。(40.0%)	授業で英文を聞く時にポイントをメモを取りながら聞く練習を繰り返し行う。また、聞いたり読んだりした英文を、他者に説明したり感想を書くなどの活動を仕組む。	2	70%	生徒アンケート	2月		